

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんせんとらるあいちこうきょうがくだん 公益社団法人セントラル愛知交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 山田貞夫		
制作団体所在地	〒 450-0003		
	愛知県名古屋市中村区名駅南4-8-17 ダイドー名駅南第2ビル 401		
電話番号	052-581-3851	FAX番号	052-581-3852
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじんせんとらるあいちこうきょうがくだん 公益社団法人セントラル愛知交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 山田貞夫		
公演団体所在地	〒 450-0003		
	愛知県名古屋市中村区名駅南4-8-17 ダイドー名駅南第2ビル 401		
制作団体 設立年月	1983年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	顧問/藤井知昭、理事長/山田貞夫、副理事長/中西正男、常任指揮者/角田鋼亮、名誉音楽監督/レオシュ・スワロフスキー、名誉指揮者/小松長生、特別客演指揮者/松尾葉子、首席客演指揮者/齊藤一郎、正指揮者/古谷誠一、アソシエイトコンダクター/阿部未来		【事務局】常務理事/瀬戸和夫、事務局長/白川和彦、音楽主幹/山本雅士、プロジェクトマネージャー/山本博司、事務局員/沖汐明日香他6名 【楽員】コンサートマスター/寺田史人、楽団員44名 ※入団条件…一般公募オーディションによる
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	山本博司
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	白川和彦

<p>制作団体沿革</p>	<p>当団は、これまでの公演をはじめとする諸事業の実績が認められ、令和3年4月に公益社団法人に認定された。</p> <p>1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年にセントラル愛知交響楽団に改名。2009年4月一般社団法人となり、2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。レオシュ・スワロフスキーを名誉音楽監督に、名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一という指揮者陣で各種公演に臨む。</p> <p>定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はいずれも好評を博す。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。</p> <p>2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>令和2年度</p> <p>【愛知県】豊橋市文化芸術体験推進事業演奏会(市内中学校2年生対象)、名古屋市立植田小学校・栄生小学校、岩倉市立岩倉南小学校・岩倉東小学校・岩倉北小学校、東浦町立北部中学校、半田市立半田小学校他12校</p> <p>【岐阜県】土岐市立泉西小学校・濃南小学校</p> <p>【三重県】四日市市立三重平中学校・港中学校</p> <p>【福井県】福井県ふれあい文化子どもスクール(県内全小学校5年生対象公演…収録に変更)</p> <p>※以上の他、6小学校、1中学校が中止</p>		
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>平成19年 豊田養護学校 平成20年 佐織養護学校 平成21年 東急ふれあいコンサート(盲学校対象公演) 平成22年 北ぎらら学園、山梨県立ろう学校(※) 平成23年 宮古恵風支援学校(※) 平成26年 愛知県立港特別支援学校 等</p> <p>※文化庁舞台芸術体験事業</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>無</p> <p>無</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>DVDを提出します。</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

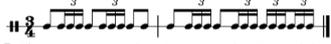
対象	○	小学生(低学年)	○	中学生	
	○	小学生(中学年)			
	○	小学生(高学年)			
企画名	【小学校】『心わくわく、リズムにのって』 【中学校】『オーケストラで表現するアイデンティティー～諸国の特徴ある音楽を探る～』				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ ドボルザーク/スラブ舞曲Op.72-1 (4分) ◇ 弦楽器紹介 (7分) ♪ 吉松隆/アトム・ハーツ・クラブ第1組曲第1曲 (4分) ◇ 管・打楽器紹介 (12分) ◇ 指揮者体験コーナー (12分) ♪ チャイコフスキー/花のワルツ (カット版6分) …休憩 (10分)… ◇ 共演コーナー (10分) ワークショップ実施内容(ドラヴェル/ボレロ)を披露し 全校児童で共演体験と鑑賞 ♪ ドビュッシー/「小組曲」よりパレエ (3分) ♪ ドボルザーク/交響曲第8番より第4楽章 (9分) ♪ 校歌 (5分) <p>アンコール 小学校・中学校共通</p> <p style="text-align: center;">小学校 90分構成</p>	<p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ ドボルザーク/スラブ舞曲Op.72-1 (4分) ◇ 弦楽器紹介 (7分) ♪ ピアソラ/ブエノスアイレスの夏 (6分) ◇ 管・打楽器紹介 (12分) ◇ 指揮者体験コーナー (12分) ♪ チャイコフスキー/花のワルツ (カット版6分) …休憩 (10分)… ◇ 共演コーナー (10分) 吹奏楽部と共演 ※吹奏楽部がない場合は、ワークショップ実施内容 (ドラヴェル/ボレロ)を選抜生徒と共演し全校生徒に披露 ♪ モシユコフスキー/「世界中の国々から」よりイタリア (6分) ♪ スマタナ/「わが祖国」よりモルダウ (12分) ♪ 校歌 (5分) ※吹奏楽部との共演 <p>アンコール 小学校・中学校共通</p> <p style="text-align: center;">中学校 95分構成</p>			
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	別添あり…【別添資料 リンク先No.1】 ※楽器紹介、指揮者体験コーナーの参考資料 別添あり…【別添資料 リンク先No.4】				
演目選択理由	プログラム構成と選曲に当たっては、文科省学習指導要領で示されている音楽科の目標に沿って、児童・生徒が音楽的な見方や考え方を働かせて音楽の豊かさや楽しさを感じ、また、音楽を形づくっている要素や曲想を感じ取ることなど、音楽を愛好する心情を育む機会となるよう考慮した。 【小学校】 ワークショップの内容(音楽の三要素のひとつであるリズムに焦点化)が本公演へと連動・発展し、全体をとおして児童が拍子やリズムに耳を傾け鑑賞することを意図的に導くために、舞曲をはじめ特徴的で親しみある楽曲をプログラミングした。名曲を聴き入る姿勢により心躍らせる楽しい鑑賞の時間としたい。 【中学校】 様々な国・国民学派の作曲家にスポットを当て、国(地域)の風土、文化や歴史などの影響を受けて生まれてきた音楽に触れて興味・関心を促し、それぞれの音楽固有の特徴的な雰囲気や表現を感受できるように構成した。				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	【小学校】 「ボレロ」を構成しているリズムを12のリズムパターンに分解しパネルで示し、学年に応じたリズムを学校備品の打楽器を借用する他、身のまわりで音が出せるもの、簡単な創作楽器(ペットボトルなど)や手拍子などで児童との共演を計画した。全校児童での共演の前に、ワークショップに参加した児童によるオーケストラとの模範演奏により興味・関心を引き出し、全校児童との共演に広げる。 【中学校】 ワークショップで事前練習した吹奏楽部との共演を全校生徒に披露する。 なお、吹奏楽部がない学校については、小学校で活用した「ボレロ」の発展形として、ワークショップ参加生徒がオーケストラに加わり共演する。全校生徒にはリズムの重なり、2つの旋律の対比、強弱、音色の変化、曲の構成についての知識を深める工夫を考えている。 なお、小学校・中学校ともにオーケストラ編曲した校歌で合唱奏共演する。				
出演者	指揮/角田鋼亮(当団常任指揮者) 司会/加藤恵利子 演奏/セントラル愛知交響楽団 編成…2管10型にフルート×1、トランペット×1、チューバ、ハープを追加 別添あり…【別添資料 リンク先No.2】				
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 61 名 スタッフ: 9 名 合計: 70 名	機材等 運搬方法	積載量: 2 t 車長: 6.5 m 台数: 2 台		

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間			1 時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時	13時30分～15時	10分	15時30分～ 16時45分	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	【小学校】4～6年生のクラス代表児童約20名(学校規模、学校要望に対応) 【中学校】吹奏楽部の生徒 ※吹奏楽部がない学校は、クラス代表生徒約20名(小学校同様の対応)				
	本公演	【小学校】全校児童(+教師・保護者) 【中学校】全校生徒(+教師・保護者)				
ワークショップ 実施形態及び内容	別添あり…【別添資料 リンク先No.3】					
ワークショップ 実施形態の意図	小学校・中学校ともに、ワークショップ及び本公演の事前準備にご負担がかからないように配慮した。過去実施校関係者から、学校現場の受け入れや、児童・生徒の実態等アドバイスやご提案をいただき参考とした。ワークショップの内容を本公演の共演に活かし、プロオーケストラと共演することの体験や喜び、音楽表現の深まり、同時に全校で鑑賞する場として感動へつなげることを目指す。					
特別支援学校での 実施における工夫点	小学校・中学校の演目構成を基本に実施校の要望に応じて柔軟に対応する。児童・生徒の運動機能や能力を考慮して、ワークショップでは教材曲のポレロを含めてリズム遊びを中心に、本公演ではオーケストラとの共演により音楽を感受して表現することの喜びを導きだし、一人一人の子どもたちがリラックスして過ごすひとときとしたい。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.1	【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】
演目概要	<p>【小学校】 ♪スラブ舞曲Op.72-1 演奏会のオープニングにふさわしい。生き生きとした2拍子部分と、壮大で華やかなオーケストラの響きを持つ中間部の優雅さとを比較させることで、曲の構成も理解しやすい。</p> <p>♪アトム・ハーツ・クラブ第1組曲第1曲 2000年に作曲された弦楽アンサンブル作品。現代的なロックのテイストが入ったリズムと分かりやすくポップな音使いで、初めて聴く児童もワクワクするであろう心踊る曲。</p> <p>♪ハンガリー舞曲第5番…指揮者体験コーナー使用曲 音楽表現を導き出す指揮者の役割を理解するための教材曲として取り上げる。旋律・速度・強弱の変化に富んでいる。弦楽器の問いかけに管楽器が、低音域楽器に高音域楽器が応えるなど、楽器同士の応答が見え隠れる。音楽の構造にも興味・関心を引きつけたい。</p> <p>♪花のワルツ…中学校との観点は異なる。 3拍子のリズムを感じ取ることがポイントのひとつ。ワルツは1拍目に重心を置くことでリズムを安定させているが、作曲者は途中であえて1拍目にリズムを入れない箇所をつくり不安定な踊りも表現している。旋律の美しさや基本的な3拍子のリズムと変則的なワルツの拍子感も味わい、また、普段実際に見る機会が少ないハーブやその音色にも注目させたい。</p> <p>♪ボレロ…共演使用曲 3拍子が2小節のパックとなり、2つの旋律が様々な音色(楽器)で織りなし、壮大に展開する音楽の構造を体感する。</p> <p>♪「小組曲」よりバレエ ピアノ連弾のために作曲した4曲からなる組曲の第4曲目。冒頭の2/4拍子で弾む曲調と、中間部の3/8拍子の円舞的な雰囲気による対比がわかりやすく表現され、オーケストラの各楽器による色彩感溢れた華やかな曲。</p> <p>♪交響曲第8番第4楽章(ドボルザーク) 2拍子の変奏曲形式で、トランペットが行進曲風に力強く奏でる。変奏ごとにオーケストラの様々な楽器が描き出され(楽器紹介に関連)、終わりに向け速度を高め、オーケストラの響きをもって演奏会の印象を締めくくる。</p>	
	<p>【中学校】 ♪スラブ舞曲Op.72-1 小学校同様に演奏会のオープニングを飾り、鑑賞への期待感を醸成する。ドボルザークはチェコの作曲家で、ドイツの作曲家であるブラームスにより才能を見出された。アメリカでも作曲の他に音楽教育にも貢献し国際的な名声を得た人物として紹介。</p> <p>♪ピアノスアイレスの夏 作曲家ピアソラはアルゼンチン出身だが、幼少期にアメリカ、その後フランスで過ごしたバンドネオン奏者でもある。この曲は様々な編成で編曲されているが、今回は弦楽器紹介ののち弦楽合奏版で鑑賞する。</p> <p>♪ハンガリー舞曲第5番…指揮者体験コーナー使用曲 小学校と同様に指揮者コーナーの教材曲として取り上げた。ドイツ生まれのブラームスが20歳の頃、ハンガリーを旅した際に出会った民謡を帰国後まとめた舞曲集。ブラームスがジプシー音楽に新たな刺激を受けたことがよくわかり、速さの移り変わりなどハンガリーの曲想がよく表れている。</p> <p>♪花のワルツ 17世紀にフランスで生まれたバレエが18世紀にロシアで大きく花開き、その先駆者であるチャイコフスキーの作品から取り上げた。ロシアの哀愁ある特徴的な親しみやすい旋律がいろいろな楽器で彩られ、表現の違いなどを鑑賞する。</p> <p>♪吹奏楽部との共演(演目は実施校と相談の上で決定) ※吹奏楽部がない場合は、小学校同様に「ボレロ」を使用しワークショップの成果発表とする。</p> <p>♪「世界中の国々から」よりイタリア モシユコフスキーはポーランド生まれのドイツの作曲家で、200を超える多くの曲を作曲したことで知られている。この曲はもともと4手のピアノ協奏曲であったが、自身でオーケストラに編曲された。ヨーロッパ諸国をテーマとしてそれぞれの特徴がよく表された全6曲からなり、イタリアは第5曲目。</p> <p>♪「わが祖国」よりモルダウ 鑑賞曲として、また合唱曲としても聴きなれた名曲。作曲された当時はチェコがオーストリアの影響を強く受けていたことから、スメタナは母国の誇りを秘めてこの曲を作曲したことなど時代背景の解説を含めて鑑賞する。チェコの母なる川モルダウ(ブルタバ)を描写的に描き、川が流れている情景を感じながら強弱・音色を知覚して鑑賞する。</p> <p>※上記演目の他、実施校「校歌」と、アンコールとして全校児童・生徒の手拍子を加えた「ラデツキー行進曲」を予定。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】				
<p>出演者 (指揮、司会、演奏者)</p>	<p><指揮>角田鋼亮 東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2002年、安宅賞受賞。2006年、第3回ドイツ全音楽大学・指揮コンクールで最高位を獲得。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。2010年、第3回マーラー指揮コンクールにおいて最終の6人に残った。 これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、上海歌劇院管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団と共演している。 2016年、セントラル愛知交響楽団 第145回定期演奏会(シベリウス&山田耕筰作品)が高く評価され、「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」を受賞。2019年4月よりセントラル愛知交響楽団常任指揮者に就任。仙台フィルハーモニー管弦楽団においても指揮者のポジションを務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拓いている。2020年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。</p> <p><司会>加藤恵利子 名古屋市出身。 名古屋音楽大学声楽学科卒業。同大学卒業演奏会出演。声楽を伊藤晶子、美口啓子の両氏に師事。名古屋市新進演奏家紹介コンサート優秀賞受賞。(社)日本歌曲振興会 日本歌曲コンクール声楽部門入選。 これまでに歌劇「あしたの瞳～もうひとつの未来(初演)」「ブラック・ジャック～時をめぐる3章(初演)」「(以上、作曲・指揮 宮川彬良)、オペレッタ「こうもり」(アデーレ)「伯爵令嬢マリツァ」(リーザ)「チャルダッシュの女王」(シュタージ)、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」(修道院長)「ザ・ミュージックマン」(リアン・パルー)「ライト・イン・ザ・ピアッツァ」(マーガレット)東宝ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」等に出演。 モーツァルト「レクイエム」、ドヴォルザーク「ミサ」等、宗教曲のソリストをつとめる。 また徳川園や名古屋市東山荘、名古屋市市政資料館など、名所旧跡での日本の歌ソロコンサートに出演。 平成30年度 芸術創造賞(名古屋市文化振興事業団)受賞。 Blog 加藤恵利子『うた、恋ふれば・・・』を公開中。</p>					
	<p><演奏者></p>					
	フルート	大西宣人 鈴木美良乃 エキストラ	第1ヴァイオリン	寺田史人※ 丹沢絵美 高嶋耕二	ヴィオラ	井野公実 小中能会真 為貝香織
	オーボエ	安原太武郎 左古典子		古宮山栄里 吉岡秀和		依田郁子 エキストラ
	クラリネット	箱崎由衣 岡村理恵		濱島仁美 植村圭		エキストラ
	ファゴット	大津敦 小野木栄水	第2ヴァイオリン	栗山聡子 エキストラ	チェロ	石橋隆弘 大屋馨
	ホルン	八木健史 宇井智美 高橋由佳 エキストラ		鬼塚博道		堀田祐司 本橋裕
	トランペット	村木純一 清水祐男 エキストラ		石橋玲子 西村洋美 荒巻理恵		波多和馬 エキストラ
	トロンボーン	福田良正 森田和央 エキストラ	※コンサートマスター	二川理嘉 安田祥子 エキストラ	コントラバス	榊原利修 森田真理 高柳安佐子 エキストラ
	チューバ	エキストラ		エキストラ		
打楽器	片山陽平 和泉麻里 深堀賢太郎 エキストラ					
ハープ	エキストラ					

リンク先	No.3	【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>小学校、中学校ともに、弦楽器、木管楽器、金管楽器によるミニオーケストラが来た！という設定で実施。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラのお話 ・訪問メンバーの紹介、それぞれの楽器の音が出る仕組みと演奏 ・ミニコンサート ・質問コーナー <p>上記内容(1時限)の後、校種別に展開(1時限)…全体で2時限を予定</p> <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材曲を使用して、音楽の三要素(リズム、メロディー、ハーモニー=音楽の構造)について理解し、今回焦点を当てたリズムの役割を深める。 …旋律のみ→旋律に和音奏を加える→和音奏をリズム変奏 ・教材曲(本公演共演曲)「ボレロ」をミニオーケストラで演奏し、刻まれているリズムを聴き取り、2小節がパックになっていることも気づき、児童の興味・関心を引き出す。  <ul style="list-style-type: none"> ・「ボレロ」に表れる12のリズムパターンを示し、学校備品打楽器、創作楽器(ペットボトルなど)や手拍子などでチャレンジする。……下記リズム他  <ul style="list-style-type: none"> ・楽器や創作楽器などで、単純なリズムパターンから順次重ね(輪奏)、併せて音色の工夫や重なりも感じながらリズムあそびをする。 ・ミニオーケストラと一緒に、上記要領で合奏体験(共演)をする。 <p>※本公演ではワークショップ参加児童が模範演奏をし、全校児童でチャレンジしてオーケストラとの共演に展開。</p> <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本公演における共演に向け、吹奏楽のセクション指導、合奏指導を行う。 ・選曲については学校の希望曲を優先する。 <p>※本公演では、オーケストラ(管打セクション)との共演を全校生徒に披露する。</p> <p>《吹奏楽部がない学校》</p> <p>上記小学校の「ボレロ」のリズムパターンの難易度を多少高め、楽器や創作楽器の音色の工夫、強弱や曲の盛り上げの工夫に加え、2つの旋律の対比や楽曲構造等にも触れた創作活動としたい。</p> <p>※本公演では、参加生徒と実演して本公演に繋げる。</p>	

リンク先

No.4

【公演団体名 公益社団法人セントラル愛知交響楽団】

◆小学校公演における楽器紹介コーナーの様子



当団が学校公演で実施している楽器紹介は、全ての楽器の音の音の出る仕組みや各楽器単独の音色を鑑賞いただき、いずれの学校でも好評をいただいている。

演目概要
参考資料

楽器紹介
と
指揮者体験コーナー

◆小学校公演における指揮者体験コーナーの様子



◆小学校公演に置けるリズム遊びの様子



※楽器紹介については別送のDVDを参照。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D46	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	公益社団法人 セントラル愛知交響楽団				制作団体名	公益社団法人 セントラル愛知交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	4室	条件	指揮者・司会者・オケ男性・オケ女性。着替え・飲食で使用したいため、カーテン/目隠しがあると望ましいです。				可	
搬入について	来校する車両の大きさや台数 *			4トラック	1台	バン	1台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック*1台(幅2.49m 長さ8.95m 高さ3.48m)				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			7m以内				可	
	搬入経路の最低条件			可能な限りフラットな経路、屋根のある経路				可	
	理由			平台などの舞台道具の搬入をするため、また雨天の場合楽器が濡れないようにするため					
	設置階の制限 *			問わない				—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.8m		可	
WSについて	参加可能人数		20名程度					可	
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	【小学校】中学年/高学年	中学生		可		
	所要時間の目安 単位:分	120分					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			全校児童・生徒				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18m	奥行	11m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要				可
		舞台袖スペースの条件 *			—				可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	—		可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可	
		ピアノの事前調律 *		不要				可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			0.2A	※主幹電源の必要容量			可	
その他特記事項							応相談		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		7m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

